

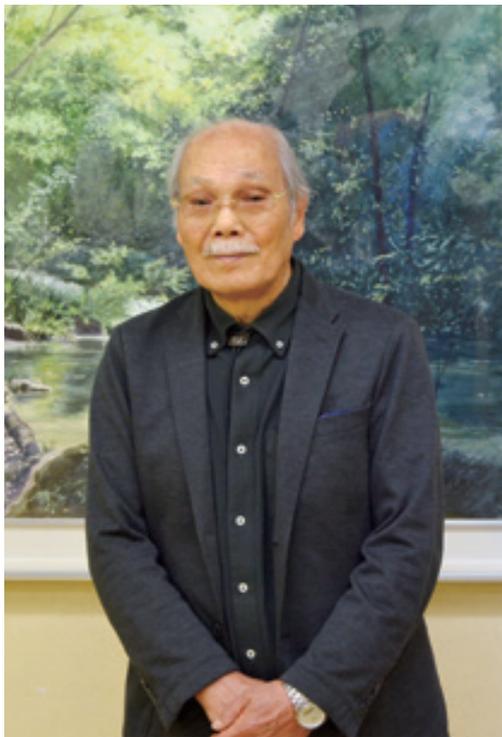
# 絵を描き続け喜んでもらうことが自分の楽しみ

水彩画家

元日本水彩画会会員、元示現会会員

## 森 薫 さん

もり・かおる 83歳 温泉郷



昭和10年に東京都で生まれる。国学院大学文学部卒。栃木、福島、神奈川県に居住後、昭和59年に安比高原へ移住。ペンション経営を始めた。平成10年に温泉郷へ転居し、アトリエ「植生の宿」を構えた。八幡平の四季など、自然豊かな風景を水彩で描き続けている。

「光栄の至りです。皆さんに絵を見ていただくことがうれしい」と笑顔で振り返るのは、平成30年11月3・4日の両日に開催された市芸術祭特別展で水彩画を披露した森薫さん。八幡平市内の白樺並木や青森県の奥入瀬渓流など、四季折々の風景画13点が展示され、多くの来場者を魅了した。絵を描くことが得意だった森さんは、中学2年生の頃、福島県へ学童疎開していた村の文化祭で、水彩画家石井柏亭の作品と出会い衝撃的な感動を覚えた。自身の画風への迷いは確信へと変わり、水彩画家を志すことを決意した。しかし、親の反対により東京芸術大学進学を断念。結婚後に妻が病気を患うと、コーヒー専門店を経営しながら看病に努め、多忙な日々を送った。独学で絵を描いても応募する自信が持てなかった森さ

んだったが、平成元年に日本水彩展へ初出品。以来「継続は力なり」と、ひそかに師と仰ぐ人からの激励を糧に出品し続け、13年に日本水彩展三宅克己賞に輝いた。16年に第25回コレクターが賞を選ぶ絵画展でグランプリを受賞したほか、23年に日本水彩展の審査員を務めるなど、数々の功績を残している。

森さんは「もうひとふんばりしたいですね。先輩方が果たした白寿(99歳)展を私も開きたい」と意欲をたぎらせ、今日もアトリエで筆を走らせる。



自宅兼アトリエで音楽を聴きながら水彩画の制作に取り組む森さん

■編集後記  
▽4月から広報の係に異動になりました。広報の業務は初めてで、記事の作成と編集ソフトの操作に四苦八苦の毎日です。取材で伺った際は、よろしくお願いします。(左)  
▽松尾鉱山資料館だよりが今号から初登場しました。それにもない18ページのデザインをリニューアル。博物館だよりと入れ替わりながら不定期で紹介していきます。(右)  
▽盛岡市内一周継走で西根中男子が連覇を果たしました。ただただ「すごい」の一言。すぐにでも伝えたいのですが、5月号の校了には間に合いませんので、来月号で紹介いたします。お楽しみに。(多)

### 【広告】

業務拡大に伴い 正社員募集

勤務地 八幡平市内

正社員 飼養と管理業務

給与/月給190,000円～  
勤務/8:00～17:00  
休日/シフト制(月8日程度 ※週休2日相当の日数)  
資格/要普通免許  
待遇/社会保険完備、賞与年2回、昇給年1回、各種手当、作業着支給、通勤手当(上限なし)

●応募/まずはお気軽にお電話ください。 028-7111 八幡平市大更1-238-1  
有限会社 コマクサファーム ☎0195-76-4719